

令和元年10月2日

居宅介護支援事業所
管 理 者 各 位

東京大学大学院医学系研究科
高齢者在宅長期ケア看護学分野
山本則子

令和元年度 老人保健健康増進等事業（要介護高齢者等に対する看護介入による効果検証事業）

「ケア効果の可視化プロジェクト」への調査協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、私どもは、令和元年度老人保健健康増進等事業として、標題テーマに関する調査を実施することになりました。この調査では、高齢者への在宅ケアについて、利用者・ご家族の視点も含めた客観的な手法で評価し、その効果を可視化することを目指しています。本調査により、看護介入のみならず質の高い在宅ケア全般の特徴を明らかにすることや、個別の介護支援専門員によるアセスメント内容を再確認することによるアセスメント能力の向上に資することを目指して、研究計画を立案いたしました。

つきましては、介護支援専門員の皆様にぜひご協力を賜りたく、ご連絡をさしあげております。下記の概要のほか、添付の研究計画、調査内容案をご覧頂き、調査協力の可能性がありましたら、お手数ですが、添付のFAX返信フォームを用いて御返信頂けませんでしょうか。

ご多忙中大変恐縮ですが、何卒よろしくご高配のほど、お願い申し上げます。

敬具

記

【調査の目的】

高齢者およびご家族への在宅ケアの効果・質の高いケア/ケアマネジメントの特徴を可視化すること

【調査の対象者】

75 歳以上の利用者および家族、担当介護支援専門員、管理者

※1 事業所につき、利用者5名程度（事業所規模により増減に関しては相談させていただきます）

※主として以下のいずれかの疾患をもつ利用者：心不全、COPD（肺気腫・慢性気管支炎含む）、
肺炎、脳血管疾患、がん、大腿骨頸部骨折、
神経難病、認知症

【ご協力いただきたい内容】

- (1)ウェブアンケート回答：管理者（1 回）・担当介護支援専門員（半年間にわたり最大計4回）
- (2)利用者・家族への質問紙等の手渡しと簡単なご説明（資料はこちらで準備いたします。）

【その他】

- 研究説明用の動画により、ウェブアンケート等の調査方法を説明させていただきます。
- ウェブアンケートは、ほとんどがクリック形式、PC またはスマホで回答（中断・再開可能）です。質問紙による回答をご希望の場合は対応させていただきます。
- 回答時間の目安は管理者15分/回、介護支援専門員15分/回、利用者・家族5分/回です。調査票（案）をご参照ください。
- 謝金として、利用者データ 5 名分につき 1 万円を事業所に支払わせて頂きます。